

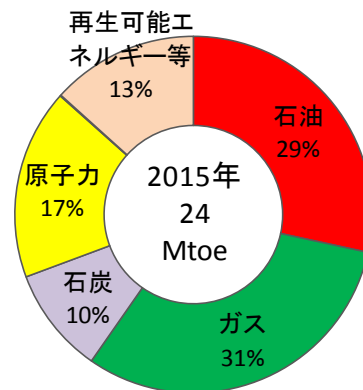
2-27 ハンガリー

1. サマリー

1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量 (2015年) : 24 百万 toe (日本の 0.05 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2015年) : 2.43toe (日本の 0.71 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2015年) : 42%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2014年) : 40.3 百万 CO₂ton (日本の 3.4%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2014年) : 4.08CO₂ton (日本の 43.7%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2015年末) : 石炭 180 年

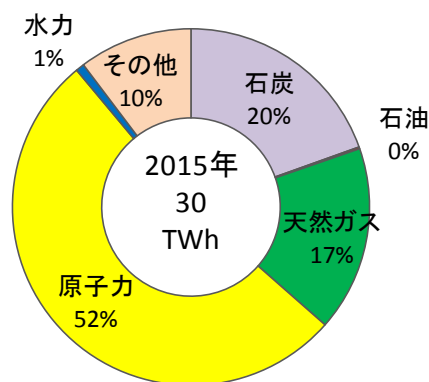
一次エネルギー供給構成 (2015年)



Country: Hungary

(出所) World Energy Balances 2016, IEA

発電電力量構成 (2015年)



Country: Hungary

(出所) World Energy Balances 2016, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- 国家開発省 (Ministry of National Development) がエネルギー政策および気候変動政策を、農業省 (Ministry of Agriculture) が環境政策を担う。
- 独立規制機関であるエネルギー・公益企業規制局 (Hungarian Energy and Public Utility Regulatory Authority : MEKH) が電力、ガス、熱供給市場の規制 (ライセンス発行、市場監視、料金規制、消費者保護、統計整備) を行う。
- 原子力エネルギー局 (Hungarian Atomic Energy Authority) が原子力関連規制を担う。

(2) 基本政策

- 国家開発省が策定した「National Energy Strategy 2030」(2012年発表)では、エネルギー政策は国内外の情勢や地政学的環境を踏まえ、エネルギー需給の合理化、ハンガリー経済の成長、多くの国民が妥当な価格でエネルギーを利用できるようにすることを出発点にするとしている。そのうえで、次の4つの具体的な目標を達成することによって、持続可能かつ安全、ひいてはハンガリー経済の競争力向上に資するエネルギーシステムを構築するとしている。
 - エネルギー供給チェーン全体でのエネルギー効率向上
 - 再生可能エネルギーを中心とした低炭素電源の比率の拡大
 - 再生可能エネルギーや新たな手法による熱供給
 - 低炭素輸送モードの比率の拡大

(3) 最近の動向

- ハンガリーの独立規制機関 MEKH は、ハンガリーとスロバキアを結ぶガスパイプラインを 2015 年 7 月 1 日から商業運転開始する許可を与えた。当該パイプラインは、reverse-flow pipeline で、年間輸送容量が 155 Bcf (スロバキアからハンガリー向け) で、逆方向の年間輸送容量は 56.5 Bcf となる予定。
- 2015 年 9 月、欧州に中東やアフリカから難民や移民が過去最高水準で押し寄せ、危機的な状況となった。Budapest 東駅には難民が数千人規模で連日座り込みを続けた。ハンガリー当局の封鎖により駅構内から排除された難民らと警官が衝突し、緊張感が高まった。
- 2015 年 11 月、ハンガリーが進めている Paks 原子力発電所Ⅱ期工事建設プロジェクトについて、欧州委員会は EU 競争法の国家補助規則に適合するか詳細な調査を開始すると発表した。ロシアからの低金利融資を受け 2018 年にも着工が見込まれていた同プロジェクトの見通しは、欧州委員会の調査により急速に不透明感を帯びることになった。

3. 日本とエネルギー分野における関係

- 日本とハンガリーのエネルギー分野での関係は確認出来ない。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Hungary

(2015年)

(1) 一次エネルギー供給量		24 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		2.43 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.17 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		42 %
(5) エネルギー起源CO ₂ 排出量(2014年)		40.3 百万CO ₂ 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量(2014年)		4.08 CO ₂ 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	10 %
	石油	28 %
	天然ガス	31 %
	原子力	17 %
	水力	0 %
	再生可能エネルギー等	13 %
(8) エネルギーの輸入依存度		58 %
(9) 石油の輸入依存度		88 %
(10) 輸入原油の中東依存度		16.4 %
(11) 原油の輸入先	第1位	ロシア
	第2位	イラク
	第3位	カザフスタン

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2016, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2016, IEA

(10)～(11) : Oil Information 2016, IEA